

## 第3回 刈谷市公営企業経営戦略等策定委員会 議事録

### 1 日 時

令和4年9月13日（火）午後1時30分～2時30分

### 2 場 所

刈谷市役所1階 101会議室

### 3 出席委員 9名

委 員 長：齊藤由里恵

委員長職務代理：井上隆信

委 員：丸地弘泰、岩井佑樹、作田美乃利、岡田行永、齊藤康子、  
佐藤英一郎、村口文希

### 4 欠席委員

なし

### 5 事務局

水資源部長：水野秀彦

下水道課：高須課長、石黒課長補佐兼維持係長、稲垣計画係長、西尾業務係長  
牧野主任主査

### 6 傍聴者

なし

### 7 公開・非公開の別

公開

### 8 議題

- (1) 刈谷市下水道ビジョンについて
- (2) 刈谷市下水道事業経営戦略について
- (3) その他

## 質疑等

### 《議題（１）刈谷市下水道ビジョンについて》

#### 【委員】

雨水ポンプ場の適切な維持管理に更新も含まれており、「刈谷市下水道ストックマネジメント計画」の下水道施設に雨水ポンプ場も含まれていることを説明いただき、その点は理解した。

しかし、８ページの維持管理の項を改めて読むと、最初の段落で汚水管きょについて書かれており、次の段落の老朽化も汚水管きょのことである。次の段落も「そのため～」で始まっており、汚水管きょのことを言っているように読めてしまう。

次の段落からは雨水ポンプ場について書かれているが、雨水ポンプ場についてもストックマネジメント計画の中でしっかりと計画がなされていることが、この文章の順番だと読み取りづらいと思うがどうか。

#### 【事務局】

雨水ポンプ場についてもストックマネジメント計画の対象と分かるように、修正いたします。

### 《議題（２）刈谷市下水道事業経営戦略について》

#### 【委員】

26ページの有収水量の予測について、前回の質問に対する回答では一人当たり有収水量の算出方法について、工業用途も含めた総有収水量÷接続人口としている。

一方、本文では「節水機器の普及や近年の節水意識の高まり等」で減少する一般家庭での一人当たり有収水量のことを言っているように読めるため、定義されていることとは違うように感じた。

一人当たり有収水量の算出方法は経営戦略の本文内でどこかに示されているか。

#### 【事務局】

現在は26ページのグラフの注釈に記載している他は「一人当たり有収水量」の説明の記載はありません。

#### 【委員】

この項での一人当たり有収水量は、一般の市民が考えるような家庭での一人当たり有収水量ではなく、工業用途も含まれていることを示した方が良いと思う。

用語集の有収水量の項に一人当たり有収水量の算出方法を追記したらどうか。

【事務局】

「一人当たり有収水量」の説明を追記させていただきます。

【委員】

刈谷市では有収水量の値の把握はどのように行っているのか。

【事務局】

下水道使用料の算定根拠となる水道メーターの使用量や認定水量で把握しています。

【委員】

26 ページのグラフ注釈では有収水量は接続人口に一人当たり有収水量を乗じて算出するとしているが、実際には料金収入の際の水量を積み上げて有収水量を把握し、そこから一人当たり有収水量を算出しているのであれば、ミスリードにならないか。

【委員長】

グラフ注釈にある計算式は計画期間の推計値を算出する際の計算式ということで、分けて説明をお願いしたい。

【事務局】

有収水量の実績値及び推計値については、説明の修正や追記をさせていただきます。

【委員】

7 ページの収納率実績が令和 2 年度の数値だが、他の項目で令和 3 年度の数値に修正している所があり、同じように令和 3 年度に置き換えなくても良いのか。

【事務局】

経営比較分析表の項目など、まだ令和 3 年度分が公表されていないものは令和 2 年度の数値になっていますが、令和 3 年度の数値がでているものは置き換えるようにしていますので、修正させていただきます。

【委員長】

56 ページの用語集の最後にわ行の項目として「該当なし」とあるが、ないのであれば記載は不要ではないか。

【事務局】

修正させていただきます。

### 《議題（3）その他について》

今後のスケジュールについて説明し、次回 10 月 4 日の委員会でパブリックコメント実施前の案を確認することとした。

以上